

(2) 地域の公共交通の現状

【新型コロナウイルス等による路線バス利用の減少】

・高速バスは新型コロナウイルスの感染拡大の影響等により、2019(令和元)年度から2020(令和2)年度の推移はマイナス58%となっています。(P33 参照)

・地域間幹線系統、広域生活交道路線、市町村単独補助路線の利用者数は、新型コロナウイルス流行以前の2017(平成29)年度から2019(令和元)年度までの推移が年平均マイナス3%、同流行後の2019(令和元)年度から2020(令和2)年度の推移はマイナス13%となっています。(P37、40、42、43 参照)

【様々な系統が重複して運行するバス路線】

・日高地域のバス路線は、下図に示すとおり苫小牧～新ひだか町静内地区間、日高町門別地区～日高町日高地区間、新ひだか町静内地区～様似町間及び様似町～広尾町間の大きく4区間で運行していますが、様似町～広尾町間を除く区間は様々な系統が重複して運行しています。

